

【会員支援の充実】 担当理事：○中野、山根、虎澤、林

基本目標： 会員サービスを多面的に支援する運営のあり方への改善。学生が資格を取得・維持したいと思える取り組みの発信をする。

会員支援の充実		優先度	実施期間・取組内容と2025年度までの達成状況				
行動目標	行動計画		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度までの達成状況	2026年度
1. 連絡手段を構築する	①学生への発信力の強化	◎	学生に対して、連絡の取りやすい方法(双方向)、発信が届きやすい方法(一方通行)を検討し、試験的に運用する。(例えば、LINEグループやLINE公式アカウント)	他ドメインによって発信するモノ・コトが創出されていれば、発信・発信をしていく。そのリアクションなどを検証して発信・発信の方法を学生と一緒に模索する。	新規登録の増加、登録の継続を推進し続ける。(卒業しても登録を継続し続けたいようなものを発信・発信する)	・SNSを活用し、連絡の取りやすい方法(双方向)、発信が届きやすい方法(一方通行)を試験的に運用する。 また、この方法について効果を検証する。	・さらにSNSを活用し、団体会員所属の指導者、キャンプインストラクター養成講習会参加者などのつながりを強化する。 ・新規登録の増加、登録の継続を推進し続ける。(卒業しても登録を継続し続けたいようなものを発信・発信する)
	②現会員名簿の作成	△	現会員およそ300名との連絡手段を構築する。(名簿の扱いの確認して、現状で手に入る連絡先と新たに連絡先を10月会報を利用して収集する。)	現会員およそ300名の連絡先の取得を会報を利用して継続する。	現会員およそ300名の連絡先の取得を会報を利用して継続する。	・正会員名簿は蓄積されている。 ・会員全員である、キャンプインストラクターの入れ替わりが多いので、ディレクター2級以上の会員名簿作成の検討。	・ディレクター2級以上の会員名簿を作成する。
	③新規会員名簿の作成	○	今後の新規会員については、連絡手段の取得手順を作成し、名簿の作成をする。	新規会員の連絡先の取得を継続する。	新規会員の連絡先の取得を継続する。	②と同じ	②と同じ
2. 会員・団体会員の求める取り組みを実施	①学生団体会員が協会に求めるモノ・コトを調査し、検討し、実施する。	◎	学生団体会員が協会に求めるモノ・コトを調査し(団体・団体所属かつ協会の学生・団体所属かつ非協会の学生への聞き取りやアンケートなど)、どのような取り組みが必要で、その中から何ができるか検証する。(学生団体の学生)	前段階での調査結果から団体が協会に所属したいと思える取り組みを検討して、できることから試験的に実施して、学生団体のリアクションを得ながら、検証する。(学生団体の学生)	学生団体会員における非協会員がどうしたら、協会員(キャンプインストラクター)になるのかを検討し、試験的に実施する。(学生団体の学生)	・団体会員が協会に求めるモノ・コトを試験的に調査した。 ・主催事業等で各団体会員からの要望を伺い、愛知県キャンプ協会が各団体に支援できることを検討している。	・学生団体会員における非協会員がどうしたら、協会員(キャンプインストラクター)になるのかを検討し、試験的に実施する。(学生団体の学生)
	②会員ではない一般のニーズの調査をする。(ただし、学生をメインターゲットとする)	△	現状では、(会員ではない)一般のニーズを広く調査・検討しても、その対応を実施できる状況ではない。したがって、現行で開催されているイベントのリアクションの聞き取りやアンケートまでに留める。	学生団体へ未所属かつ非協会の学生がどうしたら、協会員(キャンプインストラクター)になるのかを調査・検討する(一般学生⇒想定は養成校の大学生)	学生団体へ未所属かつ非協会の学生がどうしたら、協会員(キャンプインストラクター)になるのかを検討し、試験的に実施する。(一般学生⇒想定は養成校の大学生)	・キャンプフェスタなどのイベント参加者から愛知県キャンプ協会に期待すること、キャンプのニーズを毎回調査している。 ・2022年度以降子どもキャンプを継続実施している。 ・学生からは、主催事業等から逐次要望などを伺っている。	・イベント参加者調査委及び子どもキャンプの継続実施。 ・学生との密な交流を主催事業等で継続する。 ・課程認定団体、以前交流のあった団体などへのアプローチを強化する。
	③会員のニーズの調査をする。	△	すでに2022年以前に既に実施済みであるが、現在の連絡手段(発信方法)の利用では、母数に対して分析・検証に耐えうる標本数が獲得できない。あるいは、この母数の状況についても再議論が必要である。	連絡手段が構築され、調査の意義がある場合は実施を検討する。	連絡手段が構築され、調査の意義がある場合は実施を検討する。	②と同様	②と同じ
3. 活動場面の創出と発信	①発信媒体の回数・件数よりも発信内容として資格取得者(とくに学生)が参加できる内容を発信する。	○	とくに資格取得学生、団体会員、養成校の学生にメリットがあったり、参加できる取り組み(レベルアップ、楽しみ、交流など)を創出する。(行動目標3は、行動目標1.2と連動し、他ドメインとの連携も必要)	とくに資格取得学生、団体会員、養成校の学生にメリットがあったり、参加できる取り組み(レベルアップ、楽しみ、交流など)を発信する。(行動目標3は、行動目標1.2と連動し、他ドメインとの連携も必要)	学生との密な発信にて、ブラッシュアップしながら創出と発信を継続する。	2. ②と同様	2. ②と同様

【人材の確保と育成】 担当理事：○遠藤、内田、家田

基本目標： 本会の目的を達成できる行動力と社会性に優れた会員及び役員の確保・育成。

人材の確保と育成		優先度	実施期間・取組内容と2025年度までの達成状況				
行動目標	行動計画		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度までの達成状況	2026年度
1. 愛知県キャンプ協会コミュニティの構築	①指導者一覧の作成	◎	・指導者対象(登録範囲)の決定 ・一覧項目の策定 ・開示範囲の決定 ・ツールの確定	運用開始 ・Q毎で内容の見直し・修正	・運営側の課題の抽出 ・登録者へのアンケートの実施 ・内容の改善	・運営側の課題の抽出を行った。 ・登録者へのアンケートの実施を検討したが、必要性を再検討している。	・ディレクター2級以上の会員名簿作成から着手する。
	②新規加入者のフローの確立	○	・個人情報の同意書の作成 ・案内方法の作成 ・登録ツールの確定				
	③脱退フローの確立	△	・脱退者の定義の決定 ・脱退ツールの確定				
2. 指導者向け依頼から報告までのフローの確立	①愛知県キャンプ協会の配信ツールの確立	○	・以下ツールのメリット・デメリットの洗い出し(LINE、メール、FlowPAD、その他コミュニティ管理システム等) ・キャンプ協会コミュニティツールと併せて確定	運用開始 ・Q毎で内容の見直し・修正	運営側の課題の抽出 登録者へのアンケートの実施 内容の改善	2. に同じ	2. に同じ
	②キャンプ協会への依頼が入った際のスキームの作成	△	・運用方法の確定				
	③実施報告書の作成や理事会報告等のスキームの確立	△	・報告様式の作成 ・報告方法の決定				
3. 会員の育成・役員の確保	①会員のスキルアップ講習の開催	◎		・キャンプアカデミーを利用して事前リサーチ	・キャンプアカデミーの実施	・キャンプアカデミーの実施	・幅広いテーマによるキャンプアカデミーを実施する。
	②若年層の役員確保への推進	○	・団体会員イベントの実施を検討したが、新型コロナ感染症蔓延のため実施できていない。	・愛知県キャンプ協会と団体会員の予定が整わず実施できていない。	・愛知県キャンプ協会と団体会員の予定が整わず実施できていない。	・愛知県キャンプ協会と団体会員の予定が整わず実施できていない。	・愛知県キャンプ協会と団体会員及び団体会員同士の交流を図る事業の実施。
	③愛知県キャンプ協会コミュニティから社会人理事、若手役員の引き上げ	△			2年間の講習・依頼状況から選定理事推薦・新役員の確保	・若手指導者も多忙で有り、検討はしているが実現できていない。	・2027年度の実施に向けて課題を整理する

【研修会の充実】 担当理事：○大山、藤井、原田(2023)、山村(2024)、小宮(2023)、加藤(2024)

基本目標：指導者研修会などを通じて理論と技術を涵養し、県内キャンプ指導者として活躍できる人材の育成。

第1号議案 第3号議案 補足資料

研修会の充実		優先度	実施期間・取組内容と2025年度までの達成状況				
行動目標	行動計画		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度までの達成状況	2026年度
1. 参加対象に見合った研修方法の検討(主体的な学びを求めて)	① キャンプ協会会員のニーズを満たすキャンプ技術・知識の向上を図る研修内容・方法	△	会員のニーズ調査方法を検討する(会員支援の充実-2) 理事会(研修担当)で必要な研修内容で研修会を継続	会員のニーズ調査実施を実施する(会員支援の充実-2) 理事会(研修担当)で必要な研修内容で研修会を継続	会員のニーズ調査実施を実施する(会員支援の充実-2) 理事会(研修担当)で必要な研修内容で研修会を継続	・各主催事業等で団体会員のニーズを伺い、事業内容に生かしている。	・各主催事業等で団体会員のニーズを伺い、事業内容に反映させる。
	② 愛知県キャンプ協会団体会員メンバーのニーズを満たすキャンプ技術・技能の向上を図る研修内容・方法	△	団体会員で実施している研修会で一般会員他団体で参加可能な研修会参加を継続する			①に同じ	①に同じ
2. キャンプ協会資格取得者がその資格を活かす、指導の場面創出するための事業の検討	① キャンプインストラクター養成講習会などに対応できる講師の養成及び資質を高める研修	◎	キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供	キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供 研修会やキャンプインストラクター養成講習会の講師、助手等行いながら研修する	キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供 研修会やキャンプインストラクター養成講習会の講師、助手等行いながら研修する	キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供 指導者派遣要請へ会員の派遣 キャンプディレクター2級養成講習会の実施 キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供	キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供 指導者派遣要請へ会員の派遣
	② 現代社会のニーズに合ったイベント等への指導者派遣要請に応える指導者養成、団体の育成及び支援	○	人材バンクの活用(会員支援の充実-1) キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供(キャンプフェスタ、こどもキャンプなど)	人材バンクの活用(会員支援の充実-1) キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供(キャンプフェスタ、こどもキャンプなど)	人材バンクの活用(会員支援の充実-1) キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供(キャンプフェスタ、こどもキャンプなど)	指導者派遣要請へ会員の派遣 キャンプディレクター2級養成講習会は実施できていない。	キャンプディレクター2級養成講習会の実施 キャンプインストラクターのキャンプ指導の場面を提供
3. これからキャンプ指導者を目指す人への研修の充実	① 「キャンプインストラクター養成講習会」の運営実施方法のバリエーションを増やす	◎	継続実施中のキャンプインストラクター養成講習会内容を再考し県協会として抑えるポイントを整理する	県協会主催研修会を活用してインストラクター養成講習会の分散日程実施	県協会主催研修会を活用してインストラクター養成講習会の分散日程実施	県協会主催研修会、団体会員で実施している研修会を活用して単位制でのインストラクター養成講習会を検討したが実施できていない。	県協会主催研修会、団体会員で実施している研修会を活用して単位制でのインストラクター養成講習会の実施を検討する。
	② 受講者増、資格登録者増を図る具体的方法を検討しパイロット的事業を実施していく			団体会員で実施している研修会でインストラクター養成講習会の内容に含まれる内容を検討	団体会員で実施している研修会でインストラクター養成講習会の内容に含まれる内容を検討		

【社会貢献・社会連携】 担当理事：○福富、江本、野畑、井澤(2024年度まで) ※伊豆原(2026年度以降)

基本目標：野外活動の発展と普及に貢献するための事業実施とキャンプ指導者活躍の場の創出。

社会貢献・社会連携		優先度	実施期間・取組内容と2025年度までの達成状況				
行動目標	行動計画		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度までの達成状況	2026年度
1. 一般向けイベントの実施	① 「あいちキャンプフェスタ」の方向性の検討	◎	・例年通りの2会場での実施(必須) ・運営協力団体の維持、増加 ・可能な範囲での来場者増の方策検討	・「あいちキャンプフェスタ」の回数増の検討 ・「あいちキャンプフェスタ」の規模拡大・内容充実の検討	・時代のニーズに合った新規の社会貢献企画の立案 ⇒人件費の支払い等に対応できるよう先に財政の健全化が求められる	・課題はあるが概ね達成できている。	・(人件費の支払い等の必要経費の捻出の見通しが立ったうえで)時代のニーズに合った新規の社会貢献企画の実行
	② 他団体企画のイベントとのコラボレーション		・民間団体との連携の模索	・民間団体との新規イベントの実施の検討	・(人件費の支払い等の必要経費の捻出の見通しが立たないようであれば)「あいちキャンプフェスタ」の回数増、規模の拡大、内容の充実での実施		
2. 他業種団体との連携、つながりの強化	① カルチャー講座への対応(要請受け入れ、企画売り込み など)	◎	・実績 とよた中日文化センター 「はじめてのソロキャンプ教室」 ・同文化センターの他センターへの広報(秋開催の事業開催依頼打診あり)	・東海三県の文化センター、カルチャーセンター、公民館事業などへの企画持ち込み。 ・指導者の育成、サポート者の確保 ・指導料などの確保(協会として指導料策定) ・教室指導の開催 2～3回/年間	・指導者の育成 キャンプインストラクターの方々を活用 ・各所へ各種企画の持ち込み ・教室指導のマニュアルを作成 指導者への配布を前提としたもの ・教室指導の開催 3～5回/年間	・2023年度以降ほとんど達成できていない。	・指導者の幅広いニーズを検討し次期計画の中で方向性を探る。
	② マスコミ等の依頼に対応できる準備		・今までマスコミ等の対応をした事例のリストアップ、一覧作成	・リストアップした事例をもとに、対応に適した理事のリストアップ ※原則としてリストアップされた理事がメインとなって対応することとし、その時の依頼内容に応じて他の理事も対応することとする		・社会におけるキャンプのニーズ、マスメディア等の媒体が求める内容に変化もあり今後検討する。	・社会におけるキャンプのニーズ、マスメディア等の媒体が求める内容に変化もあり今後検討する。
	③ 愛知県キャンプ協会賛助企業、団体の発掘		・賛助団体・企業に対するインセンティブの検討	・賛助団体・企業に対して、新入社員等に対する研修をキャンプを通して実施する(チームビルディング等の実施)	・研修キャンプの提供の他、キャンプ用具の貸し出し事業(レンタル事業)等を展開。 →協会としてキャンプ用具の保持が必須 ・キャンプを通じた企業のSCR活動のサポートを展開	・研修キャンプの提供の他、キャンプ用具の貸し出し事業(レンタル事業)等を展開。 →協会としてキャンプ用具の保持が必須 ・キャンプを通じた企業のSCR活動のサポートを展開	・賛助額に応じたコラボレーション区分の構築と拡大(スポンサーメリットのイメージ)
3. 社会的認知の向上	① 愛知県キャンプ協会及びキャンプ協会有資格者の活躍場面の露出増	◎	・愛知県キャンプ協会に所属する有資格者のリスト化 ・上記と併せて、各有資格者の専門領域(組織キャンプ、レジャーキャンプ・水辺活動など)や活動実績のリスト化 ・あいちキャンプフェスタ、こどもキャンプで実施。	県協会所属の有資格者リストを愛知県キャンプ協会HP等に掲載し、諸依頼に対して適任者を紹介する制度を構築(マッチングの仕組みを試行。依頼希望者がマッチングページから検索し、有資格者の派遣等を依頼する仕組みをつくる)。 ・あいちキャンプフェスタ、こどもキャンプで実施。	・あいちキャンプフェスタ、こどもキャンプで実施。	・あいちキャンプフェスタ、こどもキャンプで実施。	幅広い事業を展開し、キャンプ指導者の幅広い技能、ニーズに応える。
	② 愛知県キャンプ協会HPやFB以外を使った広報戦略(マスコミ、タウン誌 他)		・広報内容の検討 ・広報手段の検討	・検討した内容、手段に基づいて広報活動を実施			

【日本キャンプ協会等との関係】 担当理事：○時安、武藤、橋本、平松

基本目標：日本キャンプ協会や他支部から情報を収集し、会員の満足度を高める運営の確立。

日本キャンプ協会等との関係		優先度	実施期間・取組内容と2025年度までの達成状況				
行動目標	行動計画		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度までの達成状況	2026年度
1. 共同企画の実施	①日本キャンプ協会との連携事業	◎	日本キャンプ協会の事業計画や具体的な取り組みを前提に、自組織の強みを会員全員が共有して各種イベントや組織運営等の実践に活かす。		・2023年度までの内容を発展させる視点で検討し継続。	・2025年度は中部・北陸ブロックの幹事県として、ブロックミーティング等を主催した。	・中部北陸ブロックとの連携はうまくいっているので継続して行く。
	②中部・北陸地区支部との連携事業	◎	中部・北陸ブロックの県キャンプ協会(8県)の情報交換、連携事業を通して、会員全員が共有して各種イベントや組織運営等の実践に活かす。また、ブロックに所属する会員相互の関係が深まるよう支援する。		・能登半島復興支援として中部・北陸ブロック県キャンプ協会が協力して「みんなでエンジョイにこにこキャンプ」に出展協力を行った。	・中部北陸ブロックとの連携はうまくいっている。	・日本キャンプ協会との連携はあまり進んでいない。
2. 最新情報の収集	①「ビジョン2025」の内容や進捗状況の確認と懸案事項の情報共有	○	日本キャンプ協会の研修会などに希望する愛知県キャンプ協会役員が出席及び参加できるようにして、愛知県キャンプ協会を運営する役員全体同じ方向性を持ち組織運営や事業実施に活かす。		・2023年度までの内容を発展させる視点で検討し継続。	・「ビジョン2025」の理念は全体として理解しているが、個別のねらいを達成する事業実施ができていない。	・日本キャンプ協会が2026年度に発表する「ビジョン2030」の内容を理解し、愛知県キャンプ協会の「戦略プラン2030」を作成して改善への道筋を検討していく。
	②日本キャンプ協会及び他投道府県キャンプ協会発信情報の取り込み	◎	会員や参加者にとって魅力的なサービスを持続的に提供する。		・2023年度までの内容を発展させる視点で検討し継続。	・必要に応じて行っているが、全体として改善が必要。	・日本キャンプ協会が設立60周年記念事業等で、中部北陸ブロック県協会の他に多くの協会と情報交換した内容を指導者研修会などで反映させていく。
	③主催事業への協賛	○	愛知県キャンプ協会が主催する事業に対して、日本キャンプ協会の持つ幅広いネットワークを利用し広報や情報発信に取り組む。また、「あいちキャンプフェスタ」等のイベント型事業実施に際しては、日本キャンプ協会に協賛いただいている企業等に仲介していただき、幅広い団体に協賛していただくことを常に検討する。		・2023年度までの内容を発展させる視点で検討し継続。	・2024年度創立40周年記念事業や主催事業への協賛をいただくことができた。	・2025年度の実績を踏襲し、さらに拡大していく。

【運営改革】 担当理事：○武藤、橋本、平松、時安、増田 ※中安(2026年度以降)

基本目標：理事会構成員の若返りを目指す運営改革を持続し、創立40周年を担う組織づくり。

第1号議案 第3号議案 補足資料

運営改革		優先度	実施期間・取組内容と2025年度までの達成状況				
行動目標	行動計画		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度までの達成状況	2026年度
1. 財政基盤の確立	①個人会員の確保	◎	・D1,D2ディレクター毎の会員登録状況の把握	・退会者減少対策の立案 ・新規会員増加策の立案 ・県協会独自会員管理システムの構築	・退会者減少対策の立案 ・新規会員増加策の立案 ・県協会独自会員管理システムの構築	・課題の洗い出しのみで、対策の検討までには至ってなく、会員増員への取組みができていない。	・退会者減少対策、新規会員増加策の立案 ・日本キャンプ協会との協議を踏まえた、県協会独自会員管理システムの構築 ・愛知県キャンプ協会に登録したインストラクター取得者の属性分析
	②企業・団体会員の加入促進	◎	・団体会員加入促進方策の作成 ・会員メリットを記載した案内書の作成 ・団体会員候補企業の訪問	・団体会員候補企業リストの見直し ・団体会員候補企業の訪問	・団体会員候補企業の訪問・PR面談	・団体会員企業2社が加入した。 ・団体会員2団体が退会した。	・団体会員候補企業の訪問・PR面談【目標：2社】
	③多様な収入源の確保	◎	・外部資金獲得方策の検討	・具体的な外部資金獲得計画の策定・実施 ・課題の洗い出し及び内容の修正	・具体的な外部資金獲得計画の策定・実施	・イベント協賛企業が1社増加し、計3社となった。	・具体的な外部資金獲得計画の策定・実施 ・課題の洗い出し及び内容の修正
2. 企業との連携	①後援組織の設立	○		・団体会員企業を中心とした後援組織の検討	・後援組織設立計画の策定、立ち上げ ・意見交換会等イベントの検討	・具体策の立案までには至ってない。	・後援組織設立計画の策定、立ち上げ
	②主催事業への協賛	○	・協賛企業獲得方策の作成 ・案内書類の作成	・協賛企業リストの作成 ・企業への協賛依頼訪問の開始	・協賛企業リストの作成 ・企業への協賛依頼訪問・PR面談 (40周年記念事業の実施を契機に、企業に協賛を募るノウハウを蓄積する。)	・イベントでの協賛企業を1社拡大した。 ・40周年事業では作成した記念誌広告として、企業4社から掲載があった。	・協賛企業リストの作成【目標：5社】 ・企業への協賛依頼訪問・PR面談
3. 運営組織の強化	①組織体制の見直し	△		・現行理事会の業務分析・整理 ・新運営体制の立案	・新体制構築の準備(理事候補者の選出等)	・理事の役割分担を一部見直し、実施した。	・作成する戦略プラン2030を踏まえ役員及び事務局体制を検討する。 ・年齢構成を考え、理事候補者をリストアップする。 ・理事の役割を整理して、担当業務を明確化する。
	②40周年記念事業の企画立案・推進	○	・記念事業企画の立案	・準備委員会の発足、業務開始	・記念事業の実施 ・40周年記念事業財源の確保を目的に協賛企業を募る。	2024年度 ・創立40周年記念式典及びシンポジウムを実施した。 ・記念誌を発刊した。 ・記念品(オリジナルトートバック)を作成した。 ・協賛企業計5社の参画を実現した。	
	③法人化の調査・研究	△			・事例調査、研究開始 ・法人化メリット及びデメリット整理	・事例調査や研究が未着手の状況にある。	・事例調査、研究開始(法人化するメリット等)